

# 議会だより



## 日曜議会の模様

9月24日に開催された日曜議会には、25名（男性：21名・女性：4名）の市民の方々が傍聴に来られました。



# こまつし

74号 平成18年11月5日発行

競輪事業調査特別委員会設置	P 2～3
一般質問(15人)	P 4～11
常任委員会報告	P 12～13
請願・陳情・賛否表	P 14～15

# 再発防止策提言へ

## 競輪局不祥事で調査特別委員会設置

### 不明金千九百万円

#### 九百十六万円横領

#### 事件の経緯

小松島競輪局の元次長が業務上横領の疑いで逮捕された。元次長は、市競輪局名義の銀行口座から計九百十六万円を引き出して着服した疑い。着服金は、二〇〇四、二〇〇五年に開催された「記念競輪」の時効金など。支払期限の六十日を過ぎても受け取りに來ないのが時効金。県外の競輪場から競輪局の口座に入金



小松島競輪場

の現金を調査した結果、同額が不足していた。残高の照合をしていなかったことや、保管方法に問題があったと思われる。この件については、市から警察に対し、口頭による捜査を依頼している。この件に関し、小松島市議会は、九月二十九日、競輪事業の事務執行体制を調べ、事件の再発防止に向けて、競輪事業調査特別委員会を設置した。委員会は七名の委員で構成し、第一回委員会で委員長に出口憲二郎議員を選出した。

### 安全管理、職員配置など調査項目決定

#### 第二回調査特別委員会

十月四日、第二回調査特別委員会を開催。今後のスケジュールを決めた。十月、十一月にかけて、週一回のペースで計十回程度開催することとした。調査結果と再発防止策を十二月定例市議会に報告することも決めた。

調査内容については、不明金発生と時効金横領の経緯を中心として、競輪局の会計及び事務全般を対象とする。調査にあたっては、事件の解明ではないことを基本的なスタンスとすることとなった。

委員を終了後、勉強会を開き、競輪局から職員に事務分担と資金管理に

十月四日、第二回調査特別委員会を開催。今後、競輪局に勤務する期間が長い例があるのかとの指摘があった。また、市の説明では、人員が減ったのが事件の要因とのことだが、それは事実かとの質問があった。この二点については、競輪局で調査することとなった。不明金については、も

つとあるのではとの疑問が出され、過去五年にさかのぼって調査することとなった。また、二〇〇三年の払い戻し準備金の残高照合について、その計算根拠を求める発言があり、競輪局は提出を約束した。支払い準備金の精算方法について、払い戻しが五百万円に達するごとに精算しているのは問題があるとの指摘があった。委員からは、開催レースごとに区別して精算すべきとの意見が出た。

### 議会のチェック機能を果たしたい

委員長 出口憲二郎

警察が既に捜査に入っているのに、罰則による強制力や違反者を告発できない結果が出るよう努力したい。

きる権限のある百条調査特別委員会は適当でない。委員会では市民が納得できる結果が出るよう努力したい。

## 第三回 調査特別委員会

### 不明金の金額を調査

第三回調査特別委員会を十月十三日開催。競輪局職員の在局年数について説明があった。退職した職員では在局二十九年、現職では在局二十三年の例があった。競輪局勤務の希望が少ないのが原因とのこと。委員から、局内での配置換えをすべきであったとの意見が出た。

払い戻し準備金から発生した不明金の千九百万円の金額計算方法について説明があった。計算は二〇〇四年四月下旬の残金照合の際、不明金はなかったとの前提条件。残金照合の方法についても説明があった。しかし、記録の一部が残っており、客観性に乏しいと委員会は判断。十月十七日に開く次回委員会で、残金照合をした職員から説明を受けることを決めた。



競輪事業調査特別委員会

- |     |        |
|-----|--------|
| 委員長 | 出口 憲二郎 |
| 委員長 | 木村 文彦  |
| 委員  | 天羽 篤   |
| 委員  | 井内 建治  |
| 委員  | 二木 藤昌  |
| 委員  | 大木 進   |
| 委員  | 石原 正裕  |

## 飲酒運転追放に関する決議

車社会の宿命とはいえ、一瞬にして尊い生命を奪う交通事故は、今や、深刻な社会問題である。市民を挙げて交通事故防止に努めているが、交通事故は後を断たない。しかも最近では、飲酒運転による重大事故が多発し、憂慮にたえない。

飲酒運転を起因とした死亡事故や人身事故の発生率は極めて高く、飲酒運転事故により負傷し、また多くの尊い命が奪われ、幸せな家庭が瞬時に崩壊していく悲惨な現実がある。

小松島市議会はこの対策として、警察の指導取り締りはもとより、市民と共に、運転者としての自覚、交通安全の原点に立ち、飲酒運転を追放し、安心と安全による明るいまちづくりを推進することを、ここに決議する。

平成十八年九月二十九日

小松島市議会

## 宣誓書

我々小松島市議会議員は、市を初め市民と共に飲酒運転撲滅に向けて全力を挙げて取り組み、万が一、飲酒運転を行った場合には、市議会議員の職を辞することをここに宣誓する。

平成18年9月29日

小松島市議会議員

- |                  |                |               |                  |                |                |                |         |
|------------------|----------------|---------------|------------------|----------------|----------------|----------------|---------|
| 尾井 宮佐 中出 大宝 石太 高 | 崎内 崎野 山口 木原 田木 | 義建 欽善 憲二 正裕 幸 | 明治 司作 功二 進覚 裕教 次 | 天米 川二 大森 川木 立武 | 羽崎 田木 和本 田村 川田 | 篤孝 夫昌 肇孝 夫彦 男清 | 敏藤 道文 邦 |
|------------------|----------------|---------------|------------------|----------------|----------------|----------------|---------|



# 市政 Q and A

## 米崎 孝 議員

- 保育所の民営化について
- 幼稚園の再編について

## 佐野 善作 議員

- 行政改革について

## 天羽 篤 議員

- 保育所の民営化について
- 障害者自立支援法について
- 委託業務の確認検査について
- 一般廃棄物(し尿)の収集について

## 大和 肇 議員

- 国交省の観光交流推進プロジェクトについて

## 太田 裕教 議員

- 少子化対策と子育て支援について
- 地球温暖化防止(8割削減)の取り組みについて
- 家電リサイクル法により、対象品目の不法投棄の処理について

## 森本 孝 議員

- ミリカホール前の乗降場について
- 災害時等サイレン吹鳴装置の件について
- 市道47号線進捗率と今後の計画について

## 立川 邦男 議員

- 保育所民営化に関する諸問題について
- 防災(津波)対策の問題点について

## 石原 正裕 議員

- 一連の不祥事に関すること、及びチェック機能の強化について
- 市民への信頼の回復について
- バス事業の経営状況について

## 井内 建治 議員

- 介護保険及び市県民税の負担額増について
- 日ノ峰擁壁崩落事故の裁判結果について

## 木村 文彦 議員

- 格差社会と少子化について
- 小松島ニュータウン及び和田島団地の水質検査委託料について
- 一連の不祥事と人事異動について

## 出口憲二郎 議員

- 事務事業評価システム(行政評価システム)の導入(準備)状況について
- 市営火葬場の全面改築について

## 宝 覚 議員

- 公共事業の入札改善(公共下水道も含む)について
- 住民税について
- 国民健康保険(後期高齢者保険も含む)・介護保険について

## 宮崎 欽司 議員

- 江田区画整理事業を廃止し、(55号)バイパスを線だけで結ぶ(工事)直買方式に変えるべきでないか
- 赤石埠頭におけるリサイクル工場について
- 市営グラウンドの県の購入について

## 大木 進 議員

- 国民健康保険について
- 介護予防について

## 尾崎 義明 議員

- 公共下水道事業について
- 浸水対策について

# 保育所の民営化における責任の所在は

翔政クラブ 米崎 孝 議員

## 答 指導・監督は市が行う

**米崎** 民営化に際して、保育所の職員が全て入れ替わることで、子どもたちに影響はないのか。

**福祉事務所長** 小松島保育所、新開保育所とも移管先法人の決定後、市法人・保護者の三者協議会で十分協議をし、さらに一年間をかけて移管前の公立保育所の職員、移管先の民間保育所の職員による合同保育を実施し、子どもたちに影響がないように引き継ぎを実施する。

の事業者が、良質な保育の提供、サービスの拡充等、保育行政に多大な貢献をされている。今後民間活力を生かし、官民が協働して保育所運営を行う必要があると考えており、民営化への方針に変わりはない。公立・民間を問わず、指導・監督は市が行い、その責任を果たしていく。

## 幼稚園の再編について

**米崎** 平成十八年度中に検討委員会を設置し、幼保一体化施設を含めた再編計画を作成するらしいが、教育委員会はどのように考えているのか。

**教育長** 公教育の公平化、



新開保育所

